

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	都市農地保全支援プロジェクト事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	東京都都市農地保全支援プロジェクト実施要綱、東京都都市農地保全支援プロジェクト補助金交付要綱、武蔵村山市都市農地保全支援プロジェクト事業補助要綱		
	目的	農地が持つ環境保全などの多面的機能をより発揮させるとともに、地域住民に配慮した基盤整備により、貴重な都市農地の保全を図る。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに 
内容	農地の多面的機能をより発揮させるために地域及び環境に配慮した基盤整備に要する経費の8分の7を補助するもの。補助対象は、土留、フェンス、農薬飛散防止施設、簡易直売所等の整備に係る経費。			
対象(交付先)	農業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助金交付者 (平成30年度から令和9年度までで累計15人を目標とし、実績は当該年度までの累計を記載)	人
			実績	17	20	
			達成率	283%	250%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	4,848	5,185	17,902		-
一般財源	692	745	2,557		
国都支出金	4,156	4,440	15,345		
その他	0	0	0		
人件費	1,596	1,529	1,539		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)					
所要人員(人)	0.20	0.20	0.20		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	6,444	6,714	19,441		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	0	0	0	0	交付金額(千円)	5,185
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	0	0	0	0	割合(%)	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
補助金	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効果	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
交付件数 3件 (対象事業：擁壁実施設計、防風ネット、防薬シャッター 各1件)	-

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本補助金は、都市化が進む市内の農地について、都市農地保全の取組として実施するものであり、周辺の環境との調和を図りながら、農業者の生産活動を継続していくためには補助が必要である。 また、食の安全性に対する関心などから生産者の顔が見える安全で安心な農産物の需要は高く、住まいに近い地域の農業者が生産する新鮮な農産物を求める市民ニーズにも合致していることから、引き続き事業を実施していく。 なお、令和5年度以降については、東京都の事業名称が「未来に残す東京の農地プロジェクト補助金」に変更となっている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市街化調整区域内道路整備事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	—				
目的	市南西部（中原及び残堀地区の一部）の市街化調整区域内農地（通称「多摩開墾」）内の市道（砂利道）を営農者からの要望に基づく農業委員会からの依頼により整備路線を決定し、都度補修するものであり、それにより営農者の利便性及び生産性の向上、農業振興等を図る。				SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	多摩開墾内の市道は、耕作への配慮の観点からアスファルト舗装ではなく砂利敷のため、営農者が使用する車両の通行による損傷箇所が発生することから、年に一度補修工事を実施している。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	砂利舗装改修工事	件
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		1,705	1,353	2,000
財源内訳	一般財源	205	153	2,000
	国都支出金	1,500	1,200	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,197	1,147	1,154
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		2,902	2,500	3,154

市民・議会等から寄せられた意見

アスファルト塗装は油分がにじみ出し農作物への悪影響が危惧されることから使用を控えていたが、使用すべきではないかとの声も聴くようになった。

しかし、当該地区内の市道は、営農者以外の通行者は想定されないため、道路環境が整備されることにより不法投棄を招く可能性が高く、所管課としては意見を取り入れることへの懸念がある。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>【施工場所】 残堀四丁目区域内</p> <p>【工事内容】 再生粒度調整砕石RM-30舗装の凹凸を25～28mmの厚さで整正</p> <p>【工事面積】 186㎡</p> <p>【工事代金】 1,353,000円（消費税込み）</p>	<p>多摩開墾内道路は市道と位置付けられ、道路管理者による維持管理義務が生じている。しかし、道路の利用者が区域内の営農者に限られることから、地区内道路の認定を廃止し、農道として再認定するなど、予算管理を含め市内における農業施策の所管である農業委員会への移管等を検討する余地がある。</p> <p>また、令和3年度に調査した結果、あきる野市で広域農地内の道路を農道として維持管理していることを把握した（旧五日市町内の山林内道路）。</p> <p>さらに、長野県内の複数の自治体では、自治体が原材料を支給して住民が道路を適宜補修していることから、補修方法の見直しが可能と考える。</p>

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
<p>当該地区内道路の利用者は営農者に限られるものの、現状は市道として認定しているため、引き続き農業委員会からの依頼に基づき、砂利道の補修を実施する。</p>																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																						

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	新規就農者育成総合対策事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	新規就農者育成総合対策実施要綱（国）、新規就農者育成総合対策（経営開始資金）費補助金交付要綱（都）、武蔵村山市新規就農者育成総合対策（経営開始資金）費補助金交付要綱		
	目的	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、補助金（経営開始資金）を交付することにより、農業経営開始直後の経営確立及び新規就農者の育成・確保を図ることを目的とする。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに 
内容	市内で新たに就農する50歳未満の者に対して、月額12万5千円の資金を交付することにより、就農時の経営の安定化を図る。なお、交付期間は3年間である。			
対象（交付先）	新規就農者（青年就農者）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	新規就農者数 （平成30年度から令和9年度までで累計6人を目標とし、実績は当該年度までの累計を記載）	人
			実績	2	3	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

補助金	事業経費			市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	
交付金額（千円）	0	2,250	3,000	—
一般財源	—	0	0	
国都支出金	—	2,250	3,000	
その他	—	0	0	
人件費	0	2,293	2,308	他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	2,293	2,308	
所要人員（人）	0.00	0.30	0.30	
会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	—
合計（補助金+人件費）	0	4,543	5,308	

収入	交付団体等の決算予算の状況			交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	
総額（千円）	0	0	0	交付金額（千円） 2,250
市補助金	—	—	—	使途内訳
会費	—	—	—	
繰越金	—	—	—	
事業収入	—	—	—	
その他	—	—	—	
支出	0	0	0	割合（%）
交際費、飲食費	—	—	—	団体収入に占める補助金の割合
人件費	—	—	—	—
事業経費	—	—	—	団体収入に占める繰越金の割合
その他	—	—	—	—
	—	—	—	交付金額に対する繰越金の割合
	—	—	—	—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

所管課の評価	令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	令和4年度は2人に支給した。 【内訳】 ●月額125千円×12月×1人＝1,500千円 ●月額125千円×6月×1人＝750千円 ※本補助には年齢及び交付期間に制限があるため、評価指標の新規就農者数とは一致しない。	—

今後の方針		
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
令和4年度に開始された国の新規就農者支援策であるため、引き続き支援を行っていく。なお、補助期間は3年間であるが、補助期間終了後についても一定期間（5年間程度）営農状況の確認等が必要とされている。 市内の農地保全や担い手の確保、農業振興の側面からは、引き続き就農者の支援を行っていきたい。	今後の方針 コスト 削減 維持 増加	
成果	向上	○
	維持	
	低下	

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	体験型市民農園事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	武蔵村山市第三次農業振興計画		
	目的	市民の農業体験の機会を確保するとともに、農業に対する理解の促進を図り、もって良好な農地の保全を推進することを目的とする。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに
内容	体験型市民農園の開設に当たり必要となる耕地の区画割りや通路の整備、運営当初に必要な施設（倉庫等）の整備費用の一部について、整備の主体となる農地所有者に補助するもの。			
対象（交付先）	農地所有者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	体験型市民農園の設置数	件
			実績	2	2	
			達成率	67%	67%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	0			0			0				
	一般財源	-			-			-				
	国都支出金	-			-			-				
	その他	-			-			-				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240			230			231				
	所要人員（人）	0.03			0.03			0.03				
	会計年度任用職員（千円）	0			0			0				
	所要人員（人）	0.00			0.00			0.00				
合計（補助金+人件費）		240			230			231				

市民・議会等から寄せられた意見	
他市等の状況	

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
収入	総額（千円）	0			0			0				
	市補助金	-			-			-				
	会費	-			-			-				
	繰越金	-			-			-				
	事業収入	-			-			-				
支出	総額（千円）	0			0			0				
	交際費、飲食費	-			-			-				
	人件費	-			-			-				
	事業経費	-			-			-				
	その他	-			-			-				

交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
交付金額（千円）	-
使途内訳	
割合（%）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	

所管課の評価	令和4年度の実績	実施計画では「検討」とされたが、適地を検討中であり、予算計上をしていない。
	補助金交付に当たっての課題	開設する農地により整備に係る費用が異なることから予算額については、開設予定地が決定してから整備費を積算する必要が生じる。

所管課の評価	今後の方針		
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了		
	体験型市民農園は、都市部における農業と住民の交流を深める取組として、市民が農業に関わる契機となり、農に対するふれあいや農地保全を図るため設置しており、本補助金は、その開設に係る費用を補助するものであることから、今後も継続していく。		
	また、第五次長期総合計画及び第三次農業振興計画において、体験型市民農園の設置数を成果指標としており、引き続き「ふれあう農業の推進」を図るため、体験型市民農園の開設に向けて農地所有者への交渉を行い、3箇所目の開設を目指していく。		
	成果	向上	維持

今後の方針			
コスト			
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山地域ブランド創造活動事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山地域ブランド認証事業実施要綱、武蔵村山地域ブランド開発事業補助金交付要綱、武蔵村山地域ブランド普及促進事業補助金交付要綱		
	目的	市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、本市の活性化と魅力の向上を図る。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内産品を活用した商品等を武蔵村山地域ブランドとして認証し、市内外へ発信するとともに、認証商品の開発や普及促進に要した費用の一部を補助する。			
対象（交付先）	地域ブランド認証事業者			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	地域ブランド認証商品数	品目	目標	15	15	15
			実績	10	10		
			達成率	67%	67%		
2			目標	-	-	-	
			実績	-	-		
			達成率	-	-		

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	200	200	900	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	200	200	900	-							
	国都支出金	0	0	0								
	その他	0	0	0								
合計（補助金+人件費）	360	353	1,054									
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	160	153	154	他市等の状況							
	所要人員（人）	0.02	0.02	0.02	●立川市：輝く個店事業							
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	商工会議所と連携し、地域のお店の中から「輝く個店」を選出し、専用ホームページ等で紹介している。							
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								

交付団体等の決算予算の状況				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
収入	総額（千円）	0	0	0	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途							
	市補助金	-	-	-	交付金額（千円）							
	会費	-	-	-	200							
	繰越金	-	-	-	使途内訳							
	事業収入	-	-	-	-							
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）							
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合							
	人件費	-	-	-	-							
	事業経費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合							
	その他	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合							

視点別の分析	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	公益性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
補助基準	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
効果性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
●更新件数：4件 アイス工房ヴェルデ 「自家製アイスクリーム」 もりのこむぎ 「村山お茶食パン」 田舎家 「手作り村山ゆでまんじゅう」 村山うどんの会 「村山かてうどん」 ●補助金交付件数：1件 交付金額200,000円 村山かてうどんガイドマップを6万部作成した。		認証商品の増加に向けたPR方法の検討が必要である。	

今後の方針
 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上		○	
	維持			
	低下			
【今後の方向性】 市内産業の活性化のためには、市内の魅力ある商品等を地域ブランドとして認証し、広く市内外に情報発信する取組が重要である。本事業は、市内事業者に対して、新たな認証商品等の開発及びその広告宣伝の促進のため活用してもらおうものであり、今後も継続していく必要がある。しかし、近年では活用実績が伸び悩んでおり、本事業についての効果的な周知方法の検討が課題となっている。				

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		武蔵村山地域ブランド創造活動事業	
所管部署		協働推進部 産業観光課 商工係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、市内の魅力ある商品等を認証し、市内外へ広く発信するものであり、認証商品の普及促進により集客力や知名度の向上に寄与していることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>しかし、近年新たな認証商品の開発がなく、新規商品の開発の観点からは有効性に疑問が残る。</p> <p>よって、今後は、認証商品の普及促進と新規商品の開発支援に分け、後者については他の創業支援を目的とした事業等との連携を検討する必要があると思料する。また、その際には、既存の認証商品の分析により、それが本市の地域らしさにどのように結び付いているかの知見を確認し、新規商品の開発に役立てることを期待したい。</p> <p>また、地域に根差した効果的な周知方法を検討するなどの工夫改善により、より魅力的な事業へと発展させていくことを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	創業支援事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線	225
	根拠法令等	創業支援等事業計画、産業競争力強化法				
目的	創業希望者等の支援を行うことにより、市内での新たな産業の育成と雇用を生み出すとともに、地域経済の活性化を図る。				SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	創業を志す者のために、創業塾、創業セミナー、創業者交流会、創業個別相談を実施する。 事業実施は金融機関に委託する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	創業支援制度を利用した創業者数	人
			実績	5	13	
			達成率	24%	62%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 令和4年9月第3回市議会定例会で「講師は公平性を保つよう中小企業診断士を始めとする土業、起業家など様々な講師に依頼していただきたい。」との意見が寄せられている。
事業費（千円）		1,460	1,980	1,288	
財源内訳	一般財源	1,435	1,965	1,238	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	25	15	50	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	459	462	
	所要人員（人）	0.06	0.06	0.06	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,939	2,439	1,750	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
従来の取組のほか、新たに市内創業者を対象とした補助金を創設した。 ●むらやま創業塾「ゆめ」：参加者3人（全5回、定員10人） ●むらやま創業セミナー「みらい」：参加者延べ11人（全1回、定員20人） ●個別相談（随時）：参加者延べ24人（開催日数24日） ●市内創業者を対象とした補助金：利用者10人（合計992千円）	市内の創業希望者や創業に興味のある者の更なる発掘が課題である。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
国の認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、これから創業する方や創業しておおむね5年未満の方を対象として各種支援を実施するものであり、地域の雇用機会の確保や地域経済の活性化を図るため、今後も継続して実施していく。 また、塾やセミナーの内容を再検討するほか、開催曜日を平日から土曜日へ変更するなどの見直しにより、まだ参加していない層の参加者の掘り起こしを行いたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	安心安全・エコ住宅等改修助成事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山市安心安全・エコ住宅等改修助成事業補助金交付要綱		
	目的	市民の住環境における防災対策を推進し、及び環境負荷を軽減して安心安全なまちづくりを推進するとともに、地域経済の活性化に資することを目的とする。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	①木造住宅に対する耐震診断・耐震改修等助成事業、②新エネルギー利用機器等設置費補助事業、③エコ住宅化助成事業、④バリアフリー住宅化助成事業 ※②～④については市内事業者が施工した工事が対象			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助金交付件数 ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
			実績	130	92	
			達成率	265%	131%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	12,363	4,576	2,000		市民からは、「市外の事業者が施工した工事も対象にしてほしい」といった意見が寄せられている。
一般財源	12,363	4,576	2,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	878	841	847	他市においては、市外の事業者が施工した工事を対象としている場合が多く、事業者支援施策ではなく、環境施策として実施している。
	所要人員（人）	0.11	0.11	0.11	
	会計年度任用職員（千円）	604	645	641	
	所要人員（人）	0.45	0.45	0.45	
合計（補助金+人件費）	13,845	6,062	3,488		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	4,576
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）	
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
	人件費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
	事業経費	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
	その他	-	-	-		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●新エネルギー利用機器等設置費補助金 補助件数：6件（補助額：300,000円） ●エコ住宅化助成事業補助金 補助件数：71件（補助額：3,550,000円） ●バリアフリー住宅化助成事業補助金 補助件数：15件（補助額：726,000円） 	-

今後の方針 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

【今後の方向性】 本事業は令和4年度をもって廃止し、令和5年度から新たに、バリアフリー住宅化補助金（産業観光課）、木造住宅耐震改修等補助金（防災安全課）、ゼロカーボンシティ住宅普及促進事業補助金（環境課）として各所管において実施することとした。

なお、バリアフリー住宅化補助金については、高齢者福祉課が所管する高齢者向け支援住宅改修事業と事業対象が重複することから見直しを行いたい。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持			
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	商店街振興事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	①武蔵村山市商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金交付要綱 ②商工業振興奨励補助金交付要綱		
	目的	中小商業の振興を図り、もって地域経済の活性化に寄与する。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	①商店会等が実施するイベント事業に対し補助金を交付する。 ②商工会が行う商業振興事業（まいど～宅配事業）に対し補助金を交付する。			
対象（交付先）	①市内商店会等 ②武蔵村山市商工会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助金交付件数（イベント数） ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
			実績	5	6	
			達成率	63%	75%	
2	まいど～宅配事業利用者数	人	目標	2,200	2,200	2,200
			実績	1,951	2,115	
			達成率	89%	96%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	6,210	6,099	7,070		-
一般財源	3,971	4,250	4,195		
国都支出金	2,239	1,849	2,875		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 ①他市でも同様の取組を行っている。 ②他市では同様の取組は見られない。
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	7,008	6,864	7,840		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 6,099
市補助金	-	-	-	-	使途内訳
会費	-	-	-	-	
繰越金	-	-	-	-	
事業収入	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-	-	—
事業経費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合
その他	-	-	-	-	—
					交付金額に対する繰越金の割合
					—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
【補助実績】 ①商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 ●村山中央ショッピングセンター商店会（2イベント、1,705千円） ●村山団地中央商店会（2イベント、1,557千円） ●横中商店会（2イベント、837千円） ②商工業振興奨励補助金 ●武蔵村山市商工会（2,000千円）	地元商店街の活性化のため、各事業について市民への周知を進めることにより、イベントへの来場者又はまいど～宅配事業利用者の増加につなげる。

今後の方針 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

【今後の方向性】		地域経済の振興や地域コミュニティの活性化を図るため、引き続き市内商店会等への補助を行うとともに、都補助金を活用した新たな事業実施要望の有無について、連絡会等を通じて意見を求めていく。		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空き店舗活用事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	産業振興ビジョン		
目的	地域経済の活性化を図るため、市内の空き店舗や空きオフィスの利活用を促進する。	SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう		
内容	市内の事業用に供する不動産情報の収集・情報発信を行い、利活用を希望する事業者、創業を希望する起業家につなげる支援を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	空き店舗を活用した事業者数	事業者	目標	2	2
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
事業費（千円）	0	0	0				
財源内訳	一般財源	0	0				
	国都支出金	0	0				
	その他	0	0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	994				1,000
	所要人員（人）	0.00	0.13				0.13
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
合計（事業費+人件費）	0	994	1,000				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
商店会に対して、空き店舗を活用した東京都の補助制度を案内した。	都補助事業については、期限付きであることから、利用する商店会はない。

所管課の評価	今後の方針																														
	【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																										
	商店会との情報交換会を開催し、空き店舗等を活用した事業内容を検討する。空き店舗に関する状況や意向の把握を行い適切な補助制度を案内する。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下								
			今後の方針																												
コスト																															
成果	向上			○																											
	維持																														
	低下																														
	(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																														

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	企業誘致促進事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商・工業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線 225
	根拠法令等	武蔵村山市企業誘致条例 武蔵村山市企業誘致条例施行規則			
	目的	市への企業の立地を促進するために必要な措置を講ずることにより、地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大を図り、もって地域経済の活性化及び市民生活の向上に資することを目的とする。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内工業地域に工場等を新設又は増設した企業を指定企業として認定し、奨励金を交付する。				
対象（交付先）	指定企業				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	企業誘致による新規就業者数	人
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	1,790	0	20,000		-
一般財源	1,790	-	20,000		
国都支出金	0	-	0		
その他	0	-	0		
人件費	160	1,987	539		他市等の状況 30市町村中12市町村（本市含む）が企業誘致に関する事業を実施している。
会計年度任用職員以外の職員（千円）	160	1,987	539		
所要人員（人）	0.02	0.26	0.07		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,950	1,987	20,539		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円）	-
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-			

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度末をもって武蔵村山市企業誘致条例が失効することから、引き続き本市への企業の立地を促進するためその期限を撤廃するなどの条例改正を行った。 なお、令和4年度は交付対象となる企業が無く、交付実績なし。	市内への移転希望のある市外事業者に対する周知方法の検討を行う。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和3年度に新規指定した企業について、令和5年度より企業誘致奨励金の交付を行う。 本事業は、市内産業の振興及び市民の雇用機会の拡大に寄与するものであり、引き続き工業集積の維持、発展に向けて、製造業やその研究開発機能、先端産業企業等の誘致を図る。また、新青梅街道沿道や多摩都市モノレール想定新駅周辺区域等へ商業、サービス業等の店舗や事業所等の立地の促進を図るため、対象業種及び対象地域の拡大について検討を進める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	緑が丘地区暫定管理事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	緑が丘地区の暫定管理に関する協定書 緑が丘地区の暫定管理に関する覚書		
	目的	都営村山団地の建て替えに伴う空地約2.4haを「ひまわりガーデン武蔵村山」等として整備し市民の憩いの場、また観光名所として本市の知名度の向上に寄与する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	緑が丘地区の東京都が管理している用地に季節を味わうことができる草花を植え、市民等の憩いの場として整備するもの。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	「ひまわりガーデン武蔵村山」来場者数 ※目標値は設定していない。	人	目標	—	—	—
				実績	27,567	32,150	
達成率				—	—		
2	「菜の花ガーデン武蔵村山」来場者数 ※目標値は設定していない。	人	目標	—	—	—	
			実績	8,775	10,083		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		12,442	12,717	1,072	
財源内訳	一般財源	12,442	12,717	1,072	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	2,293	2,308	
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		14,835	15,010	3,380	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<ul style="list-style-type: none"> ●ひまわりガーデン武蔵村山 開園期間：令和4年7月23日から同年8月14日まで 来場者数：32,150人 ●菜の花ガーデン武蔵村山 開園期間：令和5年2月18日から同年3月30日まで 来場者数：10,083人 	—

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
平成24年1月27日付けで締結した「緑が丘地区の暫定管理に関する協定書」に基づき市民等の憩いの場として整備を行い、夏の風物詩である「ひまわりガーデン武蔵村山」等を開園してきたが、協定書の期間満了となる令和5年5月末日をもって東京都へ返還し事業を廃止する。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持					低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山観光まちづくり協会助成事業			
	施策名称	第5章 地域の特徴をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係	内線 224
	根拠法令等	令和5年度武蔵村山観光まちづくり協会交付金交付要綱			
目的	武蔵村山観光まちづくり協会の運営に当たり必要な経費を交付することにより、協会の充実を図り、地域の観光資源の活用の推進に資する。			SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も	
内容	観光まちづくり協会によりロケーションサービス事業、まち歩きイベント、その他の観光事業を実施する。				
対象（交付先）	武蔵村山観光まちづくり協会				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	まち歩きイベントの参加者数	人
			実績	23	23	
			達成率	115%	115%	
2	観光まちづくり協会会員数による会費	円	目標	845,000	850,000	1,000,000
			実績	887,000	913,000	
			達成率	105%	107%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	17,376	18,000	18,000		-
一般財源	17,376	18,000	18,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.30	0.30	0.30		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	19,769	20,293	20,308		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	18,459	18,952	19,530		交付金額（千円）	18,000
市補助金	17,376	18,000	18,000		人件費	13,460
会費	887	913	1,000		事業費	1,456
繰越金	146	0	0		管理費	3,084
事業収入	0	0	0			
その他	50	39	530			
支出	総額（千円）	18,459	18,952	19,530	割合（%）	
交際費、飲食費	12	0	0		団体収入に占める補助金の割合	95%
人件費	13,762	13,460	14,188		団体収入に占める繰越金の割合	0%
事業経費	1,276	1,456	1,055		交付金額に対する繰越金の割合	0%
その他	3,409	4,036	4,287			

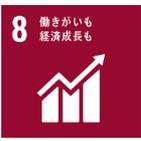
視点別の分析	項目	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
率	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

所管課の評価	令和4年度の実績				補助金交付に当たっての課題		
	会員数	法人会員	個人会員	合計			
	正会員	76	59	20	18	96	77
	賛助会員	9	8	4	4	13	12
	合計	85	67	24	22	109	89
	イベント実績	観光案内所の運営：魅力発信ポスターの発行：ロケーションサービス事業 まち歩きイベント：魅力マイスターの認証：その他					
	当協会は令和2年度に設立し、設立からの経過年数も浅く、収益事業についてもまだ十分とは言えない状況から、今後も市の交付金に依存した運営となる見込みである。 今後は収益事業を充実させ、交付金の減額を目指す。						

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
今後も、観光によるまちづくりを推進するため、行政との協働により、観光施策を充実させ、自主事業等の収益事業により観光まちづくり協会の収益の向上を図るとともに、本市の知名度の向上等により来訪者の増加を目指す。			
成果	向上	コスト	
		削減	維持 増加
	維持		○
	低下		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	村山温泉「かたくりの湯」大規模改修事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	武蔵村山市立温泉施設設置条例 武蔵村山市立温泉施設設置条例施行規則		
	目的	市民の健康づくり、多世代間のコミュニティの振興や観光・レクリエーションの拠点としての機能を担う村山温泉「かたくりの湯」を適正に管理し、来場者が快適に利用できる施設を維持する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	経年劣化により設備に老朽化が進行していることから、温泉施設の機能維持、保全のため適正に修繕を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	来場者数	人	目標	114,000	95,000
			実績	90,621	147,648	
			達成率	79%	155%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）	7,418	1,951	0
財源内訳			
一般財源	7,418	1,951	—
国都支出金	0	0	—
その他	0	0	—
人件費			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,988	3,821	0
所要人員（人）	0.50	0.50	0.00
会計年度任用職員（千円）	0	0	0
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）	11,406	5,772	0

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	市民のニーズに適合しているか
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当		

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
以下のとおり設備の修繕を実施した。 ●蒸気発生器の修繕 ●ホール雨漏りの修繕 ●真空ヒーター部品の交換修繕 ●温泉施設高圧電気設備更新工事	—

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和4年度で現指定管理者の指定期間が終了するため指定管理者の公募を行ったが、応募事業者がなかったことから、令和5年度末までに市立温泉施設の在り方を検討し、市の方針を決定することとなっている。今後の施設の方針が決定するまでは、本事業については休止する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)																								